

2020年12月20日 日立財団  
多文化共生社会の構築シンポジウム  
外国につながる高校生たちの「活躍する力」を拓く  
～学びと就労の実態が問いかける支援のあり方～

多文化共生がすすむ高校現場から  
多様な生徒たちの可能性を求めて

---

東京都立一橋高等学校教員  
多文化共生教育ネットワーク東京  
角田 仁

# 高校進学への情報を求めて増加するガイダンス参加者

## ◆2001年 第1回開催

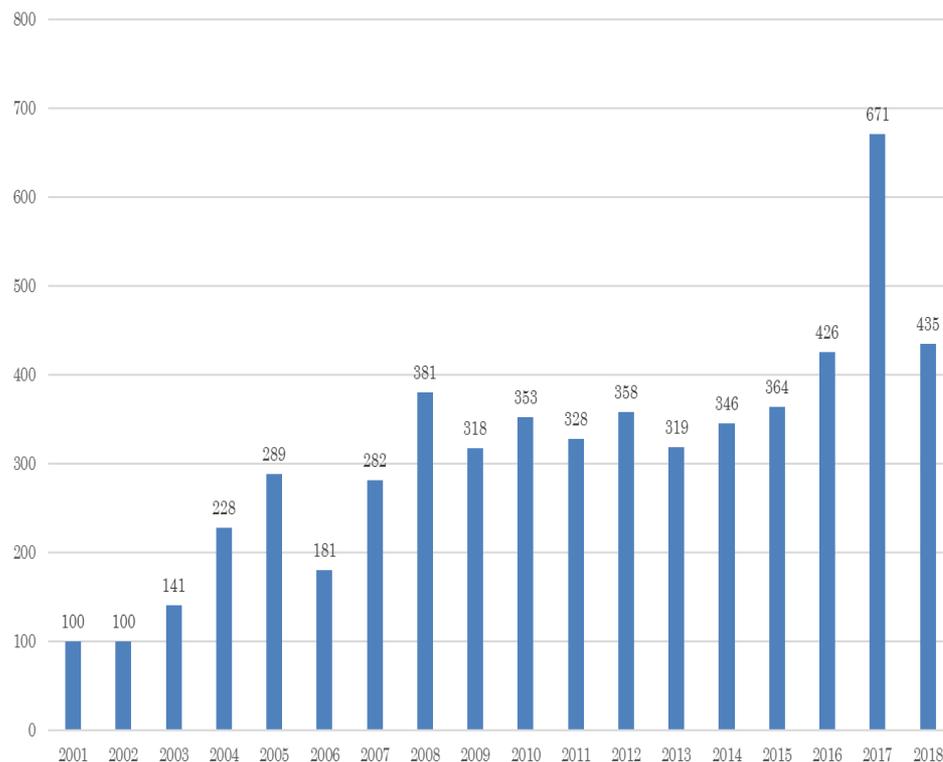
- ・23区、多摩地域の2箇所  
100名以上の親子が参加
- ・NPO、学生団体、高校教員  
による実行委員会。

◆ 現在は都内6箇所  
開催。参加支援の団体  
10以上になる。

さらに、2020年9月27日

多文化共生教育ネットワーク東京  
(TEAM-Net) 発足する。

累計 5,620名参加(2001～2017)



## 東京の外国人住民・・・都立一橋高校の地域の特徴

★総数 577, 329人

- 1 新宿区 42, 598人
- 2 江戸川区 38, 172人
- 3 足立区 34, 040人
- 4 江東区 31, 021人
- 5 豊島区 29, 672人

### ○ 中国

- 1 江戸川区 16, 533人
- 2 江東区 15, 657人
- 3 板橋区 15, 367人

### ○ フィリピン

- 1 足立区 3, 686人
- 2 江戸川区 2, 921人
- 3 大田区 2, 528人

### ○ インド

- 1 江戸川区 5, 035人
- 2 江東区 2, 363人
- 3 台東区 720人

### ○ ネパール

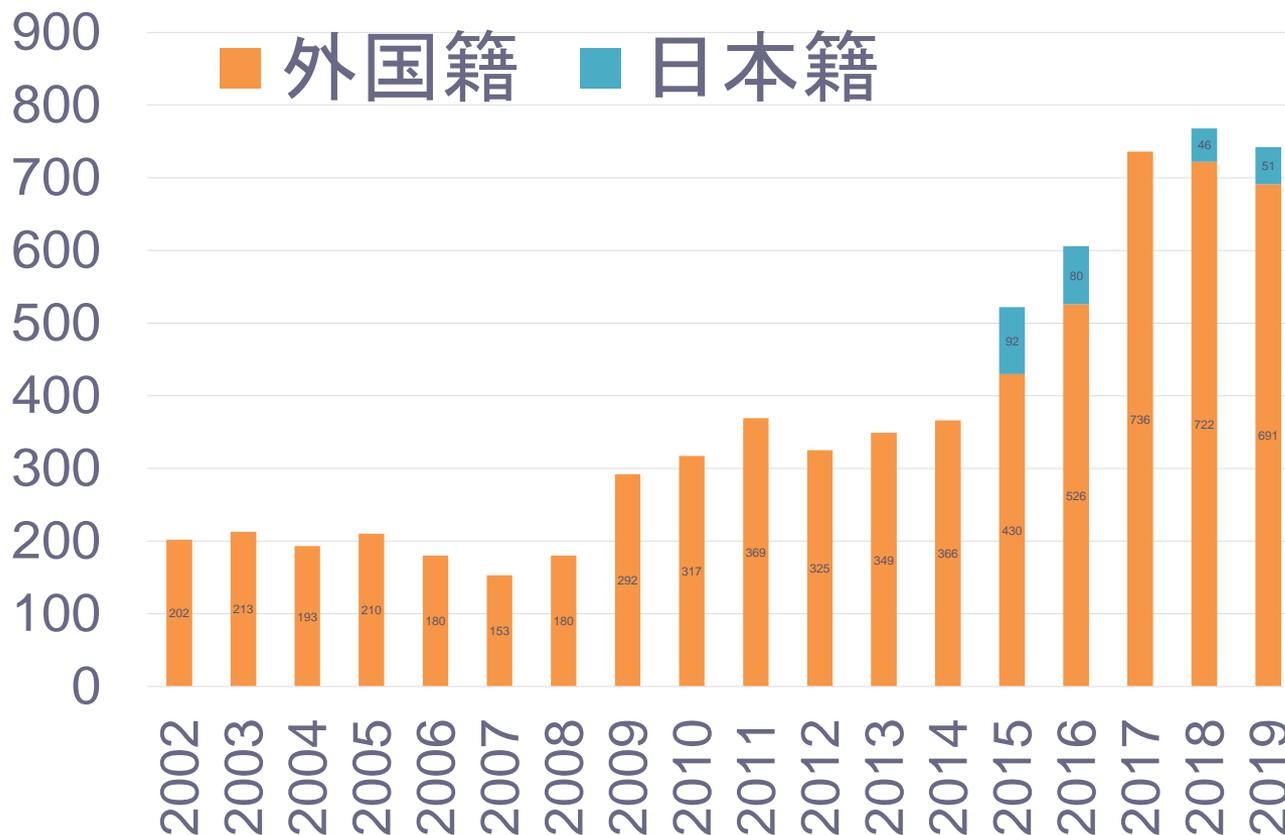
- 1 新宿区 2, 909人
- 2 豊島区 2, 831人
- 3 江戸川区 2, 293人

### ◆都立一橋高校の地域の特徴

全生徒数	576名	@2020
江戸川区	185名	32%
葛飾区	54名	9%
江東区	48名	8%

# 東京で増加する外国につながる高校生たち

日本語指導が必要な都立高校生生徒数  
(東京都教育委員会資料より)



2008~2018

10年間で  
4倍

(全国2.7倍)

## 東京都立A 高等学校定時制

…多くの外国につながる高校生が入学

年度	区分	在籍数	外国つながり 生徒数	割合	日本語指導 必要生徒数	割合
2018年度	新入生	183			35*	
2018年度	1年G組	21	8	38%	7	33%
2019年度	2年G組	17	8	47%	7	41%
2020年度	3年G組	14	10	71%	9	64%

### ◆ カリキュラム 単位制

#### 【 個別支援授業(取り出し授業) 】

国語総合(2単位)、現代社会(2単位)、世界史(2単位)、日本史(2単位)

#### 【 日本語学習 】

選択授業(2~6単位)や授業前後の補習での日本語支援の機会を用意

# 外国につながる高校生の課題は何か？

## 1 高校入学時の課題（高校に入るために）

- ・入試の壁、難しい高校入試の内容、入試情報がない。
- ・外国人生徒特別枠募集人数と特別措置はまだ十分ではない。

## 2 高校入学後の課題（高校に入学できたけれど） <その1>

### ◆不足する日本語支援

- ・教科の学習が難しい  
例:「日本史」や「古典」の授業などは難解である。
- ・日本語が読めない  
黒板の字が読めない、やさしい教科書・補助教材がない。  
学校での掲示物や配布プリントが読めない。  
やさしい日本語の支援がない。  
「ゆっくり、はっきり、短く、言い換える、ルビ振り」など。
- ・学校文化と社会的慣習の違い  
学校の仕組みやルールが理解できない。  
クラスメイトと話ができない。

## 2 高校入学後の課題（高校に入学できたけれど） <その2>

### ◆保護者に学校の情報が伝わらない

- ・保護者も日本語がわからない。
- ・大切なお知らせ（学校行事、授業料等）が伝わらない。

### ◆孤立する生徒たち

- ・日本人の友だちができずに、クラスで孤立してしまう。
- ・日本人生徒への多文化共生教育の取り組みが少ない。
- ・多い高校中退。

## 3 高校卒業時の課題(高校を出てはみたが)

- ・国籍と在留資格の壁(就労と奨学金の制限)がある。
- ・高校に進路支援のための情報や体制づくりがあるか。
- ・受け入れ先(企業や大学・専門学校等)の理解があるか。

## 活躍する外国につながる高校生たち Dさんの場合

- フィリピンから東京都内の中学に編入し、定時制高校に入学。
- フィリピン語、英語、ビサヤ語ができ、日本語の勉強も。
- 部活動(多言語交流部: ONE WORLD)の部長になり、学校内のフィリピン・ルーツの仲間を集め活躍する。
- 日本人の生徒も参加し、多文化共生の交流が深まる。
- 都立高校の「外国につながる高校生のための進学ガイダンス」にも総合司会として活躍する。
- 東京都内の大学に進学する。
- しかし、コロナ下で、授業料を払うことが難しく、いったん中退し、2年後に再チャレンジすることに。

## 活躍する外国につながる高校生たち Eさんの場合

- ・フィリピンから東京都内の中学校に編入し、定時制高校に入学。
- ・バスケットボールの部長として活躍し、定時制通信制高校のバスケットボール全国大会で入賞する。
- ・しかし、進路の選択で壁につきあたる  
消防士になりたかったが、国籍が外国籍のため断念。  
経済的な事情で、昼間働きながら、夜学校に通いたかった。  
しかし、日本で就労できない在留資格のため、担任や進路部  
が協力し、都内の弁護士（多文化共生教育ネットワーク東京）  
の支援を受け、就労のできる在留資格に変更し、就職できた。
- ・現在、会社（UNIQLO / ユニクロ）で働きながら、夜専門学校で学んでいる。英語ができるため、英語対応の客がくると呼ばれ、会社では多忙な毎日。

## 求められること 高校と日本社会が変わる

### ・新たな学校教育のモデルが求められている

日本語支援と多文化共生教育の充実と学校づくり。

### ・高校生たちの高校卒業後の受け入れ体制の構築

高等教育機関(大学、専門学校等の別枠受入、奨学金制度)

労働行政の役割(高卒ハローワーク、職業訓練校受け入れなど)。

企業や国・自治体の採用受け入れ

入管行政の制度変更(「家族滞在」等資格から変更、安定した生活)。

政府(文部科学省ほか)による啓発・研修の充実、制度の抜本改革。

NPOや支援のしくみの構築、行政の経済的なサポート。

### ・外国人と日本人の生徒が共に学ぶことで、多文化理解が顕著に進む。

◇日本社会が総合的に外国につながる高校生を受け入れる整備環境をつくる。

⇒「日本の学校教育と社会が、次のステップへすすむことができるか」

ご清聴 ありがとうございます

# 日本語を母語としない親子のための多言語高校進学ガイダンス 新型コロナ下の中で予約制で実施(2020年8月2日・品川会場 )

高校教員と個別相談をしている親子



高校でかかる費用の説明

(例)私立高校入学から卒業までかかる費用  
品川エトワール女子高等学校キャリアデザインコース ※世帯所得約910万円未満の場合

	学納金	公的補助金	保護者負担額
入学手続き金	¥380,000	¥0	¥380,000
制服教科書代	¥120,000	¥0	¥120,000
1年次	¥552,000	¥461,000~¥599,000	¥91,000~¥0
2年次	¥552,000	¥461,000~¥599,000	¥91,000~¥0
3年次	¥552,000	¥461,000~¥599,000	¥91,000~¥0
施設費(3年分)	¥120,000	¥0	¥120,000
3年間合計			

# 外国につながる高校生のための進路ガイダンスも始まる

東京都国際教育研究協議会、東京都定時制通信教育研究会、NPO、多文化共生教育ネットワーク東京等の共催で年2回実施している。

大学、専門学校、就職情報、進路に向けた大学教員の講演、外国につながる先輩の体験などが内容である。生徒の交流も兼ねて開催している。

また、外国籍の生徒の将来に関わる在留資格の説明や個別相談も、多文化共生教育ネットワーク東京の弁護士を招いて実施している。

2017年10月29日、12月17日

2018年12月22日

2019年3月17日、7月21日

2020年3月15日、7月26日(100名超の参加者)

2021年3月14日(日)予定(都立一橋高校にて)

## 外国にルーツを持つ生徒対象入試について (東洋大学社会学部国際社会学科) 大学教員による説明

